

よつわや（横山知子・雄一） ぶどう農家

夫婦2人 期間パート6~10月

《時給制》

1月, 9月を除く10ヵ月

毎週金曜日 9:30~11:30

《出来高払い》

傘拭き(2ヶ月間で1.2万枚)

ヒトデ忌避剤 小分け(40kg)

《作業内容》

1~3月 剪定枝を集めて縛り運ぶ(枝まるけ)

4月 藁外し 皮剥き

5月 敷き藁 ガットサイド塗り

6月 除草 防風ネット下ろし ヒトデ詰め

7月 傘かけ 田んぼ除草

8月 除草 2番なり取り

9月 傘拭き

10月 秋剪定の枝まるけ 藁立て 藁まるけ

11月 藁運び 敷き藁外し

12月 枝まるけ ネット上げ

業務委託料 年間約15万円

☆農福連携のメリット

夫 水稲組合で4月~10月作業 1,2月スキーインストラクター

知子 11月栗バイト 1.2月ペンションバイト

農福連携を利用することで別の仕事もする事ができる。

細かいぶどうの仕事に集中できる

☆農福連携のポイント

「自分が障害者になった時にどう接してほしいか？」を考える。

出来ない事は頼まない。細かいところまできちんと説明する。解りやすく工夫する。

出来ない仕事、遅い仕事は分解してみる。

☆こんな社会にしてゆきたい

『「気楽に生きる知恵」—無名人語録』：永六輔 [えい・ろくすけ]

障害者は、自分と無縁の存在ではありません。

だれもが、いつかは障害者になるのです。

障害者は、健常者にとって未来の姿であり、先輩なのです。

障害者によって住みやすい社会、世界にすることは、健常者にとっても大事な備えであると言えるでしょう」